

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2022年度(令和4年度)第1回理事会議事録

1. 開催日時 2022年5月13日(金) 13:00-17:10

2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20名
出席理事 18名 (定足数11名 会議成立)

4. 議長 理事 田近 英一

5. 出席役員

理事 田近 英一
理事 川幡 穂高
理事 ウォリス サイモン
理事 小口 千明
理事 高橋 幸弘
理事 道林 克禎
理事 日比谷 紀之
理事 河宮 未知生
理事 浜野 洋三
理事 阿部 なつ江
理事 沖 大幹
理事 奥村 晃史
理事 掛川 武
理事 木村 学
理事 中村 昭子
理事 西 弘嗣
理事 村山 泰啓
理事 吉田 尚弘
監事 加藤 照之
監事 鈴木 善和
監事 春山 成子

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント

倉本 圭

| | |
|-----------------------|--------|
| 大気水圏科学セクションバイスプレジデント | 佐藤 薫 |
| 地球人間圏科学セクションバイスプレジデント | 小口 高 |
| 地球人間圏科学セクション幹事 | 長谷川 直子 |
| 固体地球科学セクションプレジデント | 田中 聡 |
| 固体地球科学セクションバイスプレジデント | 沖野 郷子 |
| 固体地球科学セクションバイスプレジデント | 片山 郁夫 |
| 地球生命科学セクションバイスプレジデント | 小林 憲正 |
| 大会運営委員会委員長 | 和田 浩二 |
| ダイバーシティ推進委員会委員長 | 坂野井 和代 |
| 情報システム委員会委員長 | 興野 純 |
| 学協会長会議議長 | 林田 佐智子 |
| 事務局長 | 末廣 潔 |

午後 1 時 00 分、定数に達したので田近英一会長が開会を宣言した。インターネット会議システム Zoom を利用し、審議において参加者全員が互いに適時的確な意見表明ができることを確認した。

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

- ・定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議し、これを承認した。

第 2 号議案 女子中高生夏の学校への後援について

- ・女子中高生夏の学校への後援を審議し、これを承認した。

第 3 号議案 特定資産取扱規則の改訂の件

- ・監査を受けたところ、特定資産について貸借対照表と取り扱い規則に一部不整合があったため、修正する。特定資産取扱規則に 40 周年記念事業準備資金の記載がなかったため、追記し、他各資金の取り崩し計画も修正することを審議しこれを承認した。

第 4 号議案 定期大会参加促進事業積立資金規則改訂の件

- ・定期大会参加促進事業積立資金規則の改訂を審議した。これを承認した。

第 5 号議案 オンライン開催システム高度化推進資金取扱規則設置の件

- ・オンライン開催システム高度化推進資金取扱規則の設置を審議した。これを承認した。

第 6 号議案 連合大会開催時保育等運用積立資金規則設置の件

- ・連合大会開催時保育等運用積立資金規則の設置を審議した。これを承認した。

第 7 号議案 総会議事および決算等の承認

- ・総会議事および資料を検討した。日比谷理事より事業報告および事業計画について、また河宮理事より決算および予算案についての説明があり、決算及び総会資料を承認した。

3. 報告事項

1. 田近 英一代表理事職務報告

○今期の振り返り

- ・現体制での最後の理事会ということもあり、今期の振り返りを行った。
- ・今期(第 8 期)はコロナ禍における学術大会のオンライン開催・ハイブリッド開催を試行した。
- ・対面での会議の機会がないこともあり、会長・副会長会議や拡大業務執行理事会等を頻繁に開催し、緊密な意見交換を行い、執行体制の強化を行った。
- ・ダイバーシティ推進を励行した。委員会やセクションボードの女性比率 30%という数値目標を設定した。EDI ロゴを活用した。引き続き、会員全体の女性比率向上を目指すなどの努力が必要である。
- ・PEPS の IF が当初目標を超える 3.6 以上を獲得するなど、発展した。
- ・JpGU30 周年記念における功労者への感謝状を贈呈した。
- ・学術会議員任命拒否問題や「はやぶさ 2」の成功など社会的に大きな意味を持つ事案に即し、声明を発出した。

○継続課題について

- ・来期(第 9 期)への継続課題を確認した。
- ・財源の多様化と安定化、事務局の拡充・発展、組織構造改革、ポストコロナ社会における成長戦略、ダイバーシティ及びジオエシックスの推進、多様な賞の創設、執行体制の拡充と人材プールの確保、が挙げられた。

○体制の交代について

- ・次期委員会が理事会承認され発足するまで空白ができないよう、現委員が継続して努めていただけるようお願いしたい。鈴木監事より、規則の改訂によって空白期間ができないように改善する方が良いとの意見があり、来期に検討することとした。
- ・次期セクションプレジデントは 6 月からの任期なので、セクション体制にもなるべく空白ができないよう、ボードメンバー選出の依頼を行う。
- ・各委員会委員選任にあたり、引き続きダイバーシティを重視したいとの意見があった。

2. 川幡 穂高理事(ジャーナル担当)職務報告

○ジャーナルの活動報告

- ・PEPS の投稿・編集・出版状況について、報告があった。
- ・2022 年度 PEPS Award を選出したことについて報告があった。

3. ウォリス理事(グローバル戦略担当)職務報告

○グローバル戦略委員会の活動報告

- ・会期の重複した EGU とは、大会参加者はジョイントミーティングを相互に参加できるようにした。
- ・AGU 首脳部の方々は現地参加を希望していたが、海外からの参加者を責任もって受け入れることはできないとの判断で、今回 ERFS や VISA 関連書類は今大会では発行しない方針であることを伝えた。
- ・JpGU & Friends のブースでは、各学協会の配布物を配布するなどの協力を予定している。
- ・Facebook International の更新を活発に行っている。
- ・EGU、AOGS の大会には Promotion Video を紹介するなどオンラインでの参加を予定している。
- ・IGC2024 巡検問題について、前回理事会後に日本地質学会と韓国側とが 2 度話し合いを持ったが進展は見られなかった。次回の話し合いも予定されているが、1st Circular まで時間がない状態である。
- ・ウクライナ情勢に関連して、EGU は、ロシアの国立の組織による参加費支払いは受け付けないとの立場を表明した。
- ・JpGU ではそのような対応を行わず、単純に何らかの手段で支払いが可能な場合は受け入れることとしている。
- ・JpGU 大会では海外からの参加者が減少することが見込まれるが、現地会場でもし海外からの来場者が孤立しているような場面を見かけたら、積極的に声をかけるように協力してほしいとの依頼があった。

4. 小口 千明理事(ダイバーシティ担当)職務報告

○ダイバーシティ推進委員会の活動報告

- ・保育支援について報告があった。アンケートを経て、現地保育ルームの設置はせず、保育施設利用料の補助を行う。ガイドラインを作成し、ホームページに掲載する。
- ・昨年同様オンラインのキャリア相談会を開催する。

5. 高橋 幸弘理事(SDGs 担当)職務報告

○SDGs関連の活動報告

- ・宣言を作成した。セッション U-01 やホームページでも紹介する予定である。

6. 道林 克禎理事(大会展示担当)職務報告

○展示について

- ・一般展示は全 30 ブースがすぐに完売し、4 ブースを急遽追加して 34 ブースとなった。

・毎年好評であるクイズラリーを今年も開催するので、理事の皆様にも景品抛出の協力をお願いしたい。

○危機管理ワーキンググループの活動報告

- ・危機管理マニュアルを作成中である。
- ・千葉県は、濃厚接触者を「1メートル目安でマスク無しで15分以上の接触があった場合」と定義しており、マスクの着用を徹底していれば抵触しない。
- ・幕張メッセの感染防止対策に則って対策を実施する。特に検温の実施、マスクの着用、発熱や風邪の症状がある場合には来場自粛をもとめる、COCOAの推奨、会場外での適切な行動を求めること、の6点である。
- ・会場入り口での検温によって、感染者が来場しないようにする。
- ・会場内ではマスク着用を徹底する。それにより、定義上濃厚接触者は会場内で発生しないことになる。
- ・会場内で発熱等があった場合は看護エリアに隔離し、その後は本人から保健所等への連絡などを行い、帰宅してもらう。
- ・会場内は基本的に飲食不可で、例外的に国際展示場内に1メートル以上間隔をあげた飲食スペースを設けそのみで可とする。
- ・万一会期以降に感染が発覚した場合は、報告を求める。

7. 日比谷 紀之理事(総務担当)職務報告

- ・総務委員会の活動報告があった。
- ・後援したイベントについて報告があった。

8. 河宮 未知生理事(財務担当)職務報告

- ・財務委員会の活動報告があった。
- ・寄附文化の醸成が課題になっており、ウェブサイトでの寄附者の公開などを進めている。
- ・『千葉市ハイブリッド型 MICE 開催促進補助金』の採択が決定したとの報告があった。千葉市への貢献が条件となっており、関係者にも協力お願いしたい。

9. 浜野 洋三理事(大会運営担当)職務報告

- ・和田大会運営委員会委員長より大会準備報告があった。
- ・5月13日の参加登録状況について報告があった。4500名程度の参加登録があった。
- ・学生アルバイト募集状況について報告があった。特に会場係が不足しており、ハイブリッド開催が成立しない恐れがあるため、出席者にもアルバイト募集の周知への協力をお願いしたい。
- ・学生優秀発表賞審査員も募集中であり、こちらへの協力もお願いしたい。
- ・ロシアからの参加については特別な配慮はしないが、参加にあたっては3月7日発出の声明に賛同したものとする。

- ・JpGU から、EGU での JpGU 共催セッション 4 セッションが視聴・参加できる。
- ・会場レイアウトについて報告があった。入場レイアウトやコンベンションホールの休憩飲食スペースなどの説明があった。
- ・セッション会場での口頭発表の手順について報告があった。
- ・ポスター発表の手順について報告があった。ポスター資料を掲示することが発表要件となっているので、まだ参加登録していない場合は至急参加登録をする必要がある。オンラインポスターセッションではフラッシュトークを行い、Zoom ブレイクアウトルームを使用してポスターの発表・議論を行う。
- ・COVID-19 対策について報告があった。COCOA の推奨、マスク着用について説明があった。入場時に検温し、日替わりの検温済シールを入場証に貼付して入場する。
- ・パブリックセッションの開催予定について報告があった。
- ・ユニオンセッションに限り、大会参加者限定 (Confit 内) でオンデマンド配信する予定である。
- ・twitter による情報発信をしている。広く周知したい情報、パブリックセッションに関する情報、イベントなど、会員に共通性の高い情報を発信するので、フォローしてほしい。
- ・イベント情報について報告があった。22 日 PM3 表彰式、ランチタイムスペシャルレクチャー、地質学露頭紹介 at JpGU、講習会 (JpGU スーパーレッスン)、JAXA-NASA 講演会他の説明があった。
- ・パブリックセッションについては YouTube で公開しているので、希望に応じて公開を検討する。
- ・ユニオンセッションのオンデマンド配信にあたり、コンビーナが講演者全員に同意を取り付けることが必要となるが、その際の注意事項の文言について一部の表現が強すぎるという指摘があり、今後検討することとなった。

10. 情報システム委員会活動報告 (村山担当理事)

- ・情報システム委員会の活動報告があった。
- ・AGU Earth and Space Science Informatics (ESSI) Section 執行役員会の報告があった。セッション名を検討している件、DEI 委員会の設置検討をしている件について報告があった。
- ・ORCID 関連の活動報告があった。日本 ORCID コンソーシアムは加盟機関が 23 となった。ORCID 活用状況で、日本が最下位グループであったとの報告があった。
- ・データセットの DOI 登録の料金体制の変更について
- ・ジャパンオープンサイエンスサミット 2022 が 2022 年 6 月 6 日 (月) から 10 日 (金) まで開催決定されたとの報告があった。

11. 教育検討委員会活動報告 (阿部担当理事)

- ・教育検討委員会の活動報告があった。
- ・教員免許状更新講習会について、更新制度が 7 月で廃止になる。研修制度として残るので、教育検討委員会では引き続き講習を行う。

・AGI との共催でアースサイエンスウィーク・ジャパンを開催している。今後は広報普及委員会や代議員の皆様にも協力をお願いしたい。

12. 広報普及委員会活動報告(橘担当理事)

・橘委員長に代わり、田近会長より広報普及委員会の活動報告があった。
・次号 JGL の発行準備を行っている。次号は大会プログラム号である。ただ、大会案内の編集作業が遅れており、冊子体を会場で配布できるかどうかは微妙なところである。

13. 環境災害対応委員会報告(奥村理事)

・環境災害対応委員会の活動報告があった。
・5月9日に、防災学術連携の公開シンポジウムが開催された。環境災害対応委員会に委員を選出している団体会員の発表も多くあった。
・『ぼうさいこくたい』が3年ぶりに開催される予定である。ポスター発表で参加することを検討している。

14. 顕彰委員会活動報告(中村担当理事)

・顕彰委員会の活動報告があった。
・表彰式について案内があった。
・学生優秀発表賞の審査員が不足しているので協力をお願いしたい。
・川幡副委員長より、学術賞の他にもいろいろな賞を検討していきたいとの意見があった。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した(午後5時10分)。

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

2022年5月13日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第1回理事会

| | | | |
|------|------|------|---|
| 出席理事 | 田近 | 英一 | 印 |
| 出席理事 | 川幡 | 穂高 | 印 |
| 出席理事 | ウォリス | サイモン | 印 |
| 出席理事 | 小口 | 千明 | 印 |

| | | | |
|------|-----|-----|---|
| 出席理事 | 高橋 | 幸弘 | 印 |
| 出席理事 | 道林 | 克禎 | 印 |
| 出席理事 | 日比谷 | 紀之 | 印 |
| 出席理事 | 河宮 | 未知生 | 印 |
| 出席理事 | 浜野 | 洋三 | 印 |
| 出席理事 | 阿部 | なつ江 | 印 |
| 出席理事 | 沖 | 大幹 | 印 |
| 出席理事 | 奥村 | 晃史 | 印 |
| 出席理事 | 掛川 | 武 | 印 |
| 出席理事 | 木村 | 学 | 印 |
| 出席理事 | 中村 | 昭子 | 印 |
| 出席理事 | 西 | 弘嗣 | 印 |
| 出席理事 | 村山 | 泰啓 | 印 |
| 出席理事 | 吉田 | 尚弘 | 印 |
| 出席監事 | 加藤 | 照之 | 印 |
| 出席監事 | 鈴木 | 善和 | 印 |
| 出席監事 | 春山 | 成子 | 印 |